

# 大阪市佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会準備会 および第1回大阪市佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会議事録

日時 2018年7月12日 午後7時から  
場所 佃西小学校多目的室

委員：13名

傍聴者：2名

事務局：(教育委員会事務局教育政策課西淀川区担当) 山本部長、横内担当課長、向井担当係長、若松  
(教育委員会事務局学事課適正配置担当) 大川担当課長、松本担当係長  
(教育委員会事務局小学校教育担当) 亀川指導主事

事務局：本日は委員の皆様お忙しいところお集まりいただきありがとうございました。

大阪市立佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会準備会を始めたいと思います。

まず、本会については、議事録の作成のため事務局にて録音させていただいておりますので、ご了承ください。また、配付資料及び議事録については後日ホームページにて公表させていただきます。

事務局の自己紹介をさせていただきます。

教育委員会西淀川区担当教育部長兼副区長の山本です。担当課長の横内です。担当係長の向井です。若松です。

大阪市教育委員会学事課適正配置担当課長の大川です。担当係長の松本です。西淀川区担当指導主事亀川です。

次に、委員にご就任いただきましたみなさまの紹介をさせていただきます。佃南小学校PTAより高橋真一さま。本日は所用のため欠席です。同じく佃南小学校PTAより丸尾睦子さま、内田恵美さま。佃西小学校PTAより五十嵐世騰さま。本日は所用のため欠席です。佃西小学校PTAより渡名喜真理さま。富高香織さま。佃南小学校学校協議会より阿南雄一さま。佃西小学校学校協議会より中本義隆さま。

佃地域活動協議会より平田房夫さま。津田安基さま。井上正裕さま。千舟地域活動協議会より菅野義和さま。佃南小学校より松井校長先生。佃西小学校より北山校長先生。西淀川区役所より塩屋区長となっております。

それでは準備会の開会にあたり、大阪市教育委員会西淀川区担当教育次長である塩屋区長よりご挨拶を申し上げます。

塩屋：暑い中、公私ともにご多用の中ご出席いただきありがとうございます。学校の先生方、保護者の皆様方、ご家庭・地域の皆様方、私ども行政機関の職員も含め、地域にかかわる大人として、地域で

育っていく子どもたちの成長に資するようなよい教育環境を提供するということ、そして、ここで育っていく子どもたちが健やかに育っていくようにさまざまな取り組みを行うことを考えていく、そういう責務が私たち大人全員にあると私は強く認識しております。特に学校における学習であるとか、集団生活を通じた人格の形成であるとか、人としての資質を形成していくこと、知識や教養を身につけていくこと、真理を求めていくという態度を身につけること、情操的な心や道徳心など、そういった心と体、心身ともに成長していくこと、能力を養っていくことは極めて大切だということはみなさま方共通の認識ではないかなと考えております。そういう観点から今般、佃南小学校の児童数が少なくなっているという現状を踏まえて、この地域で育っていく子どもたちにより良い教育環境を与えるということを考えて、学校の統合ということをご検討いただくということで、学校の先生方、保護者の皆様方、地域の皆様方、学校にかかわる皆様方にご参加いただきましてこういった会合を開いているところでございます。皆様方には大変ご苦勞をおかけすることになるわけですが、ぜひ我々の宝である子どもたちにより良い教育環境を与えていくという観点から建設的なご議論をいただければありがたいと思っております。そういったことをお願い申し上げまして、冒頭のあいさつとさせていただきます。どうぞみなさまよろしくお願ひいたします。

事務局：つづきまして、次に担当課長横内より次第【資料1参照】に沿って説明をさせていただきます。まず、次第の1、大阪市佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会設置要綱について説明いたします。

横内：要綱について簡単に説明いたします。この要綱は今後のこの会の意義・方針を決定していくのに重要な事項となります。

【要綱を読み上げる】【資料2参照】

続きまして、この要綱に定められております通り、会長・副会長の選出にうつりたいと思います。会長・副会長は委員の皆様からの互選により選んでいただきたいということになっております。まずは会長についてみなさまからご推薦いただきたいと思いますが、会長に適任であると推薦される方はいらっしゃいますでしょうか？

菅野：私は佃地域活動協議会の平田さんが適任かと思ひ、推薦したいと思ふ。みなさんどうでしょうか。

委員：異議なし。

横内：平田会長、会長に就任いただけますでしょうか？

平田：みなさん、私でよろしいでしょうか？

委員：【拍手】

平田：ではそんな形にしましょう。

横内：皆様ご異議がありませんでしたら、会長は平田会長にさせていただきます。続きまして副会長はみなさまからのご推薦となっておりますが、副会長に適任であると推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

阿南：そうすると、千舟の地域活動協議会の菅野さんにやっていただきたい。

横内：そうしましたら、副会長は千舟の地域活動協議会の菅野会長でご異議ございませんでしょうか。

委員：はい。【拍手】

横内：そうしましたら、会長・副会長の選出が終わりましたので、第1回大阪市佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会へと移らせていただきたいと思います。

平田：みなさん、あらためましてこんばんは。みなさまからのご支持によりまして会長という大役を授かりました。本当に会長がつとまるのか心配ですが、みなさまからのご理解とご協力をたまわり始めていきたいと思えます。よろしく願いいたします。わたしが頼りないので、副会長は菅野さんということになって、十分な形がとれたのかなと思っております。みなさん、肩の荷を下ろして、楽な気分でやってください。

第1回大阪市佃南小学校・佃西小学校合同統合協議会を開催いたします。本会議については、現時点では私を入れて13名の参加となり、過半数を超えておりますので、この協議会は成立いたします。

それでは、次第の3、佃南小学校の課題について事務局より説明していただきたいと思えます。

横内：【資料5の説明】

最後に書いています通り、学校にアンケートボックスを置くなどして、みなさまの思いを統合協議会の議論に取り入れていきたいと思っております。

平田：今縷々説明をしていただきました。今日は、教育委員会や教育次長である塩屋さんも来られています。先ほど言いましたように、肩の力を抜いてご意見があればどしどし出していただきたい。傍聴の方は発言はできませんが、聞くだけ聞いていただいて、「こんな意見があるんやで」ということを委員の方へ伝えてください。統合協議会の場で、委員さんが、そういった意見を協議会の場へ提出していただきたいと思っております。

菅野：要綱に「傍聴の手続き」があるけれど、会議の開催についてはどのように周知するのですか？

横内：区役所のホームページで周知しております。学校の協力も得まして、保護者の方へ一斉メールを送っていただこうかな、と思っております。

平田：子どもたちを中心に考えていけないと思っております。特にPTAさん、いろいろな問題があるかと思えます。そういった問題があればおっしゃっていただければ。こんなこと聞きたいなということがあればどしどしどうぞ。

丸尾：統廃合については、いろいろな意見がありますよね。実際に佃南の保護者説明会でもいろいろな意見がありました。これは、学校に投書の箱を設置するという理解でいいということですね？ 学校の中で意見を言いたいけれど、言う場所がないじゃないか、とおっしゃっている方がたくさんいらっしゃることは認識されているんですね。その意見の吸い上げのために、アンケートボックスみたいなのを置いて、そこから集約してくれる、という理解で大丈夫ですよね？

横内：事務局としてはそのように考えております。

平田：ほかにないですか？ 地域の方も言ってもらえばいいですよ。

阿南：選択制になってから、子どもたちが交差して通学している。マイシティから西に行く。ビューハイムやユニハイムから南へ行く。先の話になるかと思えますが、中学校も含めて、佃西小学校に関しては通学路は決まった道を通って来ていると思うんです。ただ、南から行く場合、中学生小学生は裏の道を通って行くのが大多数となっている。通学路についても考えていかなければならない。選択制になったあと、お母さんが自転車に乗せて子どもを送って行っている。それで良いのか。事故が起きてはいけないとは思いますが、通学路を通らずに事故にあえば自己責任になる。通学路をまず、きっちり決めていただかないと。確かにあそこの横断歩道は狭いとは思いますが、通学路についてはきっちり見直していただきたい。子どもが中心であるのだから、統合時に北山先生がいらっしゃるかどうかはわかりませんが、異動がある場合は、後任の先生に申し送りをきっちりやっていただき

いと思います。子どもたちがより良い環境で勉強できるように行っていただきたいと思います。

平田：今の話ですと、完全に西に行くような話になってますが、今日はそういうことは置いて、

阿南：早とちりですか？

平田：どちらにしても、通学路の問題とか、統合になった場合にはここで決めていかないといけないとは思いますが、そうなるまでの形をみなさんどう思っているのか、という議論をしていただきたいと思います。我々、会長、副会長が知らない教育的な課題については教育委員会になり聞いていただければありがたい。これは最終的には阿南会長が言っていたような詰めになってくるかとは思いますが、今日は、それをいうと何にもなりませんので。こういった形で進めていった方がええんやね？

塩屋：通学路は本当に大切な課題になってくるかとは思いますが。ホームページという話もありましたが、みなさまも口コミなどで、こういった会議があるらしいよ、ホームページがあるらしいよ、というのは広めていていただきたいと思っております。

丸尾：佃南については、もう告知は終わっていて、会の傍聴についても学校の一斉メールで配信されています。

横内：阿南会長がおっしゃっていただいたように、南から歩いて行くと30分くらいかかる、と教えてくれた方がいらっしゃいました。子どもたちも、メイン通りではなくて北や南に何本か道があるので、割と好き好きに帰っている状況がある中で、登校時間や通学路を決めているのは、子どもたちの安全のためにやっているの、いろいろと教えていただいて、よく考えていかないといけないと思っています。

阿南：子どもたちの歩く姿を見ていると、あのテンポで行けばマイシティから30分かかりますよ。普通に歩けば15分で行けると思うんですが、話をしながらあっちいたりこっちいたりしながら行っているの。通学路が遠い近いの問題ではない。千舟の子どもの方が遠いといえば遠いけれど、きちんと整列しながら歩いているからそんなことはないわけで。佃の子にそれができないわけがない。

平田：貴重なご意見ありがとうございます。統合することになるかもしれませんが、子どもたちの交流・PTAの交流を通していろいろ考えていかなければいけないかな、と思います。会議で右か左か決めた、というのではなく、新しい出会いを重ねながら、一体となっていくことが大事だと思う。最終的には色んなことを決めていかなければならない。学校の名前をどうするのか、など。でも、まずそれより子どもたちが本当にどうなったら一番いいのかをみなさんと議論していただいて、結果的に進む道を定めていくための協議会と思っております。PTA、地域の方などで、議論しながら教育的・専門的なことは教育委員会や区役所に聞きながら進めていければいいと思います。今日は第1回目ということですが、何回してもいいと思うんです。色んな議論をしながら、本当に子どもたちが良かったなあといえるような形にするのが一番望ましいと思うので、いろんな意見を出してください。後、区役所の方で説明すべきことはありますか？

横内：いろいろと課題のお話をいただいたかと思うのですが、我々が思いつく課題を【資料6】にあげております。通学路、交流事業・共催事業、校舎改修、校名、見守りなどの課題と、中心となって検討を行う団体をあげております。アンケートの話もありましたが、我々が気づいていないけれど、もっと先行して取り組んでいかなければならない課題があるようでしたら教えてください。

内田：交流事業・共催事業とあります。過去に統廃合の事例があるとお話でしたが、その際に「学校がこのような事業を行った」「PTAがこのような事業を行った」というような事例があれば教えて

いただければ。事例があればこちらとしても協議する上で役立つのではないかと。

平田：委員会！何かあれば

大川：次の協議会までに用意させていただきます。

松井：北山先生とお話はしないとはいけないと思いますが、もし統合するとなれば、もともと佃の子どもたちは3小スポーツ大会などもあって交流はしているので顔見知りが多いので違和感はないのでは。ただ距離もあるのですべての事業を乗り合わせるということは無理かとは思いますが、何ができるかについては学校の担当者も交えて協議が必要かなと思っております。南で一番少ない学年である4年生が今は7名となっている。2年生からも転出がありました。この資料の段階からさらに自然減が発生している。4年生が5年生になった時、来年、林間学校をどうするのかという非常に悩ましいところがあります。7名で50人乗りのバスはチャーターできませんが、だからといって公共交通機関を使うと、ハチ北ですので、駅から宿舎までどうやって行くか、など今度は時間の制約が大きくなる。早急に西と相談させていただいて、1年後の予約を取らないといけないという状況になってきている。

統合されると1年と2年は4クラスになるのか、ということも思った方もいらっしゃると思いますが、1・2年生は35人学級なので4クラスなんですね。3年生になると40人学級になるので3学級になる。規模で行くと全学年3学級になるイメージになる。1・2年生を手厚く迎えるときだけ4学級で、そのままずっと4学級で行くということではない。従前の我々がここに勤めていた時から比べますと、40人学級からさらに減ってますので。

井上：佃西小学校にキャパはあるんですか？

北山：以前はプレハブも含めて1000人超えるという時代もありました。今現在西校舎の3階4階につきましては資料室や机椅子などの保管庫として使っているところが4教室ありますので、それを普通教室に戻すということで収容可能かな、と考えております。

平田：それは教育委員会さんにちゃんとリフォームしてもらえるということやな

大川：統合が決まりましたらきちんと改修いたします。

平田：ほかに何かありませんか。どちらにしても、これ1回では何も決まらないということです。協議会を進めて前に一步ずつ進めたらなと思っています。

横内：もう一枚めくっていただいた資料をご覧ください【資料7】これは決定事項でもなんでもありませんが、モデルケースのスケジュールを示しております。今出てきた課題であったり、PTA同士でお話し合いいただいたりしながら、9月ぐらいに土日開催も視野に入れ、第2回をやらせていただきたいと思います。もし最短で2020年4月に統合ということを考えますと、年末ぐらいに議論を尽くして、統合の是非、時期、方法などを委員の皆様で決を採った方がいいのかなと考えております。もしうまくいけば、来年の4月に教育委員会会議にて議決をいただき、5月に大阪市会に条例案を提出していただいて正式に決まるという手続きになっております。その間に通学路や交流事業などを相談しながらきっちり決めていく中で2020年4月ということになるかと。一応こういうスピード感を持っていただければいろいろなご意見も言いやすくなるかなということで入れさせていただいております。

平田：みなさまがたそれぞれ思いはあるけれど、言いにくかったなというのがあるのかなと思います。

次回にはぜひおっしゃっていただきたい。今あったように、12月ぐらいにはもう方向性を決めないといけないということになるかと思うので。かと言って毎週毎週集まるというわけにもいかない

ので、PTAさんはPTAさんなりに、みんなで話をさせていただいて、ほかの保護者のご意見も言っていただいて、ご意見をすべて出し合って、すっきりした形で決めることは決めていきたいなと思っていますので、その点ご理解いただきながらよろしくお願いします。今日まだもっとお話ししたいことがある方どうぞ。

丸尾：アンケートボックスはいつ設置されますか？

横内：松井校長先生、北山校長先生、できれば早いうちに置き方のお話をさせていただき、次回の協議会で事務局として一定の考えを出していければと思います。

平田：南だけ置くの？

横内：両方置きます。

平田：それは両校長先生もご存じなの？

横内：一応事前にちらっとは…

平田：ちらっとはあかんよ、正式に言わないと。校長先生に話をしてOKをもらっとかんと。どうなるかわからないけれど、統合するとなれば学校は学校なりの受入をしてもらわないと。PTAはPTAでどういう形が一番いいのか考えて。地域は統合となれば絶対一人も見逃さないようにする、という形でそれぞれ進んでいかないと。いろんな意見をどしどし受け入れるということを打ち出したならきっちりやっつけていかなければいけないと思います。

横内：いろんな階層の方のいろんな思いがあるので、記述式で書いてもらおうと思っています。時期的にはいつがいいですか？夏休みに入ってしまうんですが。

松井：南については、夏休みといえども子どもらは出入りしますし、夏季休業日以外は空いていますので、設置しますよ、というお知らせをして玄関なりに置いておくということは可能です。いたずら等があれば、急ぎょ撤去ということもあるかとは思いますが。ただ、常識として記名式にしてきっちり様式を定めてほしい。

横内：書かない人もいるかもしれませんが、一応記名式で。フィードバックできればしたいと思いますし。そういう意見も聞いて9月に臨むということでよろしいでしょうか。

平田：よろしいですか？

中本：今日傍聴されている方は西ですか？南ですか？一応前回の保護者説明会の議事録も読んでみたんですが…、

平田：それはなし。傍聴さんは傍聴さん。冒頭にも言いましたが、傍聴してくれた方が、委員さんに意見を言っていただいて、委員さんから発言していただければ。  
ということで、とどめていただければ。

中本：はい、わかりました。

事務局：それではこれで終了とさせていただきます。みなさまお忙しい中来ていただきましてありがとうございます。ありがとうございました。